

【事務事業調査】

事務事業名	福祉センター改修事業費		予算科目コード	会計 - 款 - 項 - 目 - 事業 001-030103-003-04-07-0
担当部課	住民生活部 健康福祉課	担当 サブリーダー	社会福祉担当 吉葉 恵子	事業の分類 新規事業

■事務事業の概要

	何をどのような方法で実施します(実施しました)か？	どのような成果が現れます(現れました)か？
計画	福祉センター内設備の老朽化による9室(食堂、事務室、廊下、和室、特殊浴室、図書室、機能回復訓練室、相談室、厨房休憩室)のエアコン取替え工事、男性・女性浴槽の改修工事、特殊浴室の改修工事(機能訓練室への転換)、機能回復訓練室のカーペット張替え工事、相談室天井及び壁雨シミ補修工事、食品庫の雨漏り修繕工事を実施する。	①平成19年度から介護予防事業の実施する際に、空き室の確保が困難であり、定期的な開催が担保されなかったことから、特殊浴室を機能回復訓練室に改修し介護予防事業である運動教室等を展開する。また、エアコン等々の機器や施設が老朽化によって福祉センターの快適性が損なわれていたことから、改修により高齢者等の居場所として利用しやすくなる。②指定管理者への移行を円滑に進めるために、福祉センター内設備の改修は必要である。
実績	エアコン設置及び受電変更工事と機能回復訓練室及び特殊浴室等改修工事に併せ、福祉センター施設内の老朽化等した部分の改修工事(事業費(実績)特記事項記載のとおり)を行った。	平成22年4月からの、福祉センターの指定管理委託に併せ、老朽化した箇所の改修工事を行ったことにより、特殊浴室が会議室として活用できることとなった。また、入浴業務の廃止に伴い脱衣室を相談室へ改修した。

■活動指標

指標	目標値	達成値	特記事項
エアコン9室設置、エアコン設置に伴う受電変更工事、男女浴槽の改修、特殊浴室の改修、機能回復訓練室の補修、相談室天井・壁の補修、食品庫の雨漏り修繕	一式	一式	福祉センター内の老朽化した設備等の改修であることから、目標値は一式とし完了又は未完了を判断とする。 ・指標の工事以外に、老朽化した部分の修繕工事を実施した。

■事業費(計画)

細 節	金 額
1 工事請負費	10,685,179
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
	10,685,179

■事業費(当初予算)

細 節	金 額
1 工事請負費	6,450,000
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
	6,450,000

■事業費(実績)

細 節	金 額	特記事項
1 工事請負費	5,704,490	①エアコン設置及び受電変更工事3,412,500円 ②照明機器取付工事199,500円 ③警備機器増設工事31,500円 ④機能回復訓練室及び特殊浴室等改修工事598,500円 ⑤特殊浴室北側ボーニー屋根設置工事262,500円 ⑥トイレ修繕工事106,000円 ⑦コンクリート落下防止・煙突撤去工事398,790円 ⑧厨房等内ガス機器交換工事357,000円 ⑨女子脱衣所の相談室への改修工事250,000円 ⑩厨房内給湯器の取替え工事78,750円 ⑪男子トイレ換気扇修繕工事9,450円
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
	5,704,490	

■事業経費

		計 画	実 績	特記事項
予 算	当初予算額		6,450,000	
	補正予算額		0	
	流用額		0	
	予算現額		6,450,000	
決 算	決算額		5,704,490	
財 源	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	受益者負担金			
	その他の特定財源			
	計		0	0
	差引(一般財源)	10,685,179		5,704,490